

遊技場向けオーロラビジョンシステム

室園 透*
松本哲也*
湯浅喜史**

Diamond Vision System for Amusement Center

Toru Murozono, Tetsuya Matsumoto, Yoshifumi Yuasa

要 旨

三菱電機の大型映像表示装置オーロラビジョンは、これまで国内外のスタジアムや公営競技場などを主体に納入してきた。近年、LED(Light Emitting Diode)方式の表示素子が普及し、軽量・長寿命と合わせて低コスト化が進み、小型のフルカラーインフォメーションボードの市場が急速に拡大している。

当社は、この市場の中でも特に遊技場向けに注目して市場拡大を進めてきた。最近の遊技場は、近隣の店舗との競争が激しくなっており、差別化と集客力を上げるために屋外にLED表示装置を設置するケースが増えている。そこで、これまで当社オーロラビジョンで培った表示技術を生かし、遊技場向けのシステムを開発した。

遊技場向けシステムでは、その表示部に従来のオーロラ

ビジョンと同様の技術を導入しており、LED素子ごとの輝度調整、独自の色度変換技術などにより高画質化を図っている。また、外光による自動輝度調整機能、映像信号に応じた自動電力制御機能などにより、高機能化を図っている。一方、コントローラ部にはパソコンのDVI(Digital Video Interface)信号を入力して映像信号に変換するコンパクトなコントローラを開発した。さらには、表示用ソフトウェアには自社で開発した描画エンジン(ソフトウェア)を実装し、スムーズな流し文字や動画表示、リアルタイムな3D描画機能を実現している。

これらにより、遊技場向けにダイナミックで動きのあるコンテンツを高品質でサービスすることができ、かつ、コンパクトで低価格なシステムの提供が可能となった。



遊技場向けオーロラビジョン納入事例

パチンコの新台情報や各種イベント情報を提供している。左はゲットゲット青江店納入オーロラビジョンでスクリーンサイズは(W)4.0×(H)2.8m、右はイーグルウエスト店納入オーロラビジョンでスクリーンサイズは(W)4.8×(H)3.6mである。